

弥富市事務事業評価シート 平成29年度実施事業対象

No.	55	—	3	事務事業名	小学校管理運営事業	細事務事業名	小学校管理運営事業	公的関与	2	シート作成日	平成30年6月12日				
課名	学校教育			グループ	学校教育	担当課長名	渡辺一弘	シート作成者名	太田高士						
事業区分	○ 1 ソフト事業		● 3 整備事業		○ 5 施設の管理運営		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 3 全部委託						
	○ 2 施設の建設		○ 4 経常的事務事業					<input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助等						
総合計画	政策目標	4 人が輝き文化が薫るやとみ				実施計画		事業の開始・終了							
	施策項目	学校教育の充実				● 1 該当		年度 ~ 平成	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし					
	主要施策	学校施設・設備の整備				○ 2 非該当		根拠法令等							
個別計画															
事業の目的	対象(誰を・何を)					意図(どういう状態にしたいのか)									
	小学校建物					児童の安全な学習・生活の場として、学校施設の維持管理及び学校施設・設備の修繕改修を行い教育環境の充実、改善を図ります。									
事業の内容	学校施設の維持管理(建物保守点検委託)、設備の改修・修繕、バリアフリー化、防犯機能の強化等の工事を実施します。 (校内LAN整備工事は国の補助・交付金事業により平成21年度完了済)														
成果指標	①	指標名	学校教育の充実に関する市民の満足度					②	指標名						
		指標設定の考え方	平24年度(23.2%)の30%増を目指す。						単位	%	指標設定の考え方				
	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 ※ 年度	目標平成 30 年度	実績	31.4	目標	※	目標	30	実績		目標	※	目標
	実績	—	実績	31.4	目標	※	目標	30	実績		目標	※	目標		目標
	目標	26	目標	28	目標	※	目標	30	目標		目標	※	目標		目標
予算費目	会 計	一般会計				款	10	1教育費	項	2	小学校費	目	1	学校管理費	
直接事業費			平成 28 年度決算額			平成 29 年度決算額			平成 30 年度予算額						
	国・県支出金	7,512 千円		20,496 千円		1,781 千円									
	地方債														
	その他特定財源	14,200 千円		70,800 千円		4,000 千円									
	一般財源	69,347 千円		81,298 千円		57,374 千円									
	計(A)	91,059 千円		172,594 千円		63,155 千円									
人件費(B)	正職員工数・経費	0.333 人		0.333 人		0.333 人									
		2,298 千円		2,298 千円		2,298 千円									
	臨時職員工数・経費	人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円								
全体事業費(A+B)	93,357 千円		174,892 千円		65,453 千円										

PLAN

DO

CHECK	チェック項目					一次評価		一次評価の説明		二次評価					
	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は少ない。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	学校施設を、建物として適正な状態で維持管理していくことは行政財産をより長く使用することができ、地域住民の財産として維持していくために必要です。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性がない。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
		4. 住民ニーズの低下がみられる。または、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	クラック補修、屋上防水、外壁塗装等を定期的に行うことで施設の延命が図れます。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っている。					<input checked="" type="radio"/>	目標に比べて劣っている		多くの建物で、大規模修繕が必要な時期にきていますが、耐震補強工事を優先して行ってきたため遅れています。	<input checked="" type="radio"/>	目標に比べて劣っている			
2. 目標設定に対して成果があまり上がっていない。					<input type="radio"/>	あまり上がっていない		<input type="radio"/>	あまり上がっていない						
3. 目標設定に対して概ね目標を達成している。					<input type="radio"/>	概ね達成している		<input type="radio"/>	概ね達成している						
4. 目標設定に対して十分に目標を達成している。					<input type="radio"/>	十分達成している		<input type="radio"/>	十分達成している						
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	一定規模の修繕を行っていかないと建物の老朽化の速度に間に合わないことになります。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
ACTION	一次評価					二次評価									
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 1	効率性 4	総合評価 B	必要性 4	有効性 4	達成度 1	効率性 4	総合評価 B				
	今後の方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等	<input checked="" type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等						
	当面の課題	老朽化している学校施設の大規模改修を実施する必要があります。					二次評価での指摘事項(部長の総括意見)								
	課題解決のための改善計画	優先順位を判断して改修していきます。					建設後、30年以上の建物が7割以上となり、各建物施設の老朽化している小学校施設等の大規模改修を実施し、児童の安全確保に努める必要があります。そのため、平成26年度に策定した整備計画に基づき、優先順位を判断し、かつ財政状況も勘案し、計画的に改修していく必要があります。								
備考															